

一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

2023 年度 事業報告書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

ATP

目次

p.2	2023 年度総括
p.3	役員名簿
p.4-5	組織戦略センター報告 1. 財政基盤の安定・強化、予算の機動的運用 2. 経営情報アンケートの実施 3. 国内外における製作者との連携、新規市場開拓の支援 4. 広報について
p.5-7	メディアセンター報告 1. 著作権の考え方の確認 2. 適正な管理費の確立 3. 「製作取引の適正化」に向けた活動 4. NHK 放送波減少への対応 5. メディア委員会 6. 製作会社主体のコンテンツ展開推進 7. 「ATP の主張」
p.7-9	事業センター報告 1. 第 39 回 ATP 賞テレビグランプリ 2. TV CREATORS FES 2025 東京 3. 育成とセミナー 4. インターンシップ、セミナー
p.9-10	関西センター報告 1. 第 11 回 ATP 上方番組大賞および受賞式の実施 2. TV CREATORS FES 2025 大阪 3. 関西協議会の開催 4. 適正な管理費の確立・関西局訪問 5. 在阪製作会社間のつながりの強化
p.10-17	2023 年度活動記録（2023 年 4 月～2024 年 3 月） 新人研修、インターンシップ、フェス ATP 賞、Tokyo Docs、メディア委員会 局訪問、推進協議会、他
p.17-18	その他（総会、理事会、入退会）

【2023 年度総括】

当年度の活動はアフターコロナとなり、各事業は対面開催を積極的に進める一方で、オンライン環境を併用するなど、適宜柔軟なスタイルで活発化、効率化に努めました。各参加数は、概ねコロナ禍前の状況に戻っています。これに伴い事業全体での支出は増加しましたが、前期繰越金の使用は当初予算内に抑えられました。

当年度の主な動きを報告します。製作会社の経営難を改善するため、総務省策定「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」に定められたルールの徹底に取り組み、合わせて適正取引に関する総務省のワーキンググループに参画し、製作会社の厳しい状況を伝え、正当な権利確保、放送事業者との適正取引を求めました。（継続中）また中小企業庁が、適切に価格交渉・転嫁できる環境の整備に着手し、全業種の中でも放送コンテンツ業界の劣悪な取引実態が明らかになったことを受け、民放連と放送事業者の皆様、喫緊の課題である管理費の確保と価格転嫁への理解を求める要望書を提出しました。

最大のイベントである ATP 賞受賞式は、松本剛明総務大臣にご出席いただきました。松本大臣は来賓祝辞において、コンテンツは将来が期待される成長分野であり、本賞が放送文化の発展と国民生活の向上、更には世界の生活の向上にもつながっていくことに期待を述べられていました。

関西センターは、上方番組大賞の成功だけでなく、会員社の交流会を初めて開催、多くの製作者が集い、有意義な情報交換の場となりました。来年度以降も継続をしたいと考えています。

海外コンテンツの台頭で国内の強化が喫緊の課題となっている今、Tokyo Docs をはじめ、アジアテレビドラマカンファレンス、日韓中テレビ制作者フォーラムにも注力しました。また釜山国際映画祭併設のアジアコンテンツアワード(ACA)=《以下「ACA」》と日本の団体で初めてパートナーシップを結びました。今後は ATP 加盟社の制作したドラマ、ドキュメンタリー、バラエティを「ACA」に応募することになり、同時に審査員として ATP のクリエイターから毎年 1 名を選出します。

ATP 事務局の就業、給与、退職金規則を 17 年ぶりに改定するため、理事による特別改定委員会を設置しました。スタッフコンサル社協力の下、1 年間かけ、現代の働き方に合わせた規則を盛り込みました。会員社の皆様の参考になるものに仕上がっています。

アフターコロナとなり、日本経済が再び動く中、当年度は主要事業だけでなく、多くの活動に取り組んだ一年となりました。

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
理事長 福浦 与一

【役員名簿】

当年度は、下記の理事メンバーにて事業活動にあたった《所属会社、役職は2023年12月当時》

氏名	所属社名	役職	
福浦 与一	IVS テレビ制作㈱	代表取締役社長	理事長
相川 弘隆	㈱いまじんホールディングス	代表取締役社長	副理事長
中川 幸美	㈱クリエイティブネクサス	取締役	副理事長
山田 治宗	テレコムスタッフ㈱	代表取締役	副理事長
伊藤 慎一	㈱シオン	代表取締役会長	理事
碓田 千加志	㈱東阪企画	代表取締役社長	理事
梅景 泰利	㈱ジェイワークス	代表取締役社長	理事
大野 光浩	㈱えすと	代表取締役	理事
荻原 伸之	㈱ジッピー・プロダクション	代表取締役	理事
川口 伸之	㈱大河プロダクション	代表取締役	理事
河野 純基	㈱ダイメディア	代表取締役	理事
田嶋 敦	㈱東京ビデオセンター	代表取締役社長	理事
橋 庸介	㈱レジスタエックスワン	代表取締役社長	理事
沼田 通嗣	㈱テレパック	取締役	理事
松葉 直彦	㈱テレビマンユニオン	取締役待遇 エグゼクティブプロデューサー	理事
松村 俊二	㈱共同テレビジョン	執行役員 制作センター 権利開発部長	理事
本木 敦子	㈱ドキュメンタリージャパン	執行役員	理事
山本 篤	㈱エキスプレス	取締役	理事
井口 高志	㈱電通	コンテンツビジネス・ デザインセンター シニア・プロデューサー	理事
音 好宏	上智大学文学部新聞学科	教授	理事
吉村 文雄	東映㈱	代表取締役	理事
浦谷 年良	㈱テレビマンユニオン	エグゼクティブプロデューサー	監事

【事業報告】

<組織戦略センター>副理事長・センター長 山田治宗

当年度の組織戦略センターでは、放送業界全体が厳しい状況の中で、改めて製作会社の経営実態を把握し、中長期的なATPの役割を考え、新たな試みをスタートしました。会員社に向けた新しいサービスも検討しています。会員社の皆さまにも、ご意見、ご提案をいただければ幸いです。

1. 財政基盤の安定・強化、予算の機動的運用

主要事業については、独立採算型の予算で運営を推進致しました。当年度はコロナ回復期となり、ここ数年中止していた事業も開催したことで、前年度と比較し事業規模は拡大、事業支出も増加しました。またATP賞では、これまでのトロフィーの著作権期間が終了したため、新しいトロフィーを制作するなどのイニシャルコストが発生しましたが、ここ数年積み上げてきた正味財産の一部を前期繰越金として利用し、予算に対する全体収支はプラスとなりました。

新規会員社の入会は、正会員1社、賛助会員2社（1社は正会員社からの移行）でした。今後の会員社、賛助会員社の新規獲得に向けて、入会メリットの整理と新規サービスの検討をしております。

2. 経営情報アンケートの実施

例年、7月に開始をしていた経営情報アンケートですが、当年度は、これまでのデータを分析し未来に活かすために、データベース化を企画したため、時期を延期し、10月・11月にかけて実施致しました。アンケート実施時の会員社数122社、回答社数88社（昨年度74社）で、回答率は72.1%（昨年度60.2%）となり、前年度を大幅に上回る結果となりました。前年度の大幅減益を受け、当年度は増収・増益と回復傾向となる結果となりましたが、実際はコロナ以前の数値まで至っておらず、製作会社にとって引き続き厳しい状況がうかがえる結果となりました。著作権保有率もさらに低い数値を示しており、今後放送局をはじめとする各メディアや関係省庁などに働きかけ、理解と改善を求めています。

3. 国内外における製作者との連携、新規市場開拓の支援

K（海外）プロジェクトでは、11月8日～11日に韓国で開催された「2023 グローバルコンテンツ会議&韓中日PDフォーラム」に延べ315名が参加し、日本からは、ATP会員社等22名が参加しました。フォーラムでは、ネットワーキング・アワーなど3ヶ国のクリエイターの交流の場が設けられ、参加者は、協業や今後のネットワークづくりなど積極的な交流を図りました。また、12月3日～5日に石川県七尾市で開催された「第16回アジアドラマカンファレンス」には、国内外9ヶ国から作家や製作者など総勢317名が参加しま

した。カンファレンスでは、アジアコンテンツの未来をテーマに、各国のドラマ製作の現状や課題などを共有し、今後のドラマ製作の可能性について意見交換を行いました。このように、国内外のクリエイター交流によるビジネスマッチングの拡大を図り、企画の芽を育成する仕組みづくりを持続しています。

また、日頃お世話になっている放送局、省庁、配信メディアなどの皆様との交流を深めて頂く場として「ATP 新春交歓会 2024」を開催しました。新型コロナウイルスの影響のため4年ぶりの開催となりましたが、約300名にご参加いただき盛況裡に終了いたしました。

4. 広報について

ATP 賞の受賞式当日に記者懇談会を開催し、記者の皆様に参加いただきました。記者懇談会では、グランプリ、最優秀新人賞の発表と合わせて新トロフィーのお披露目、またデザインを手がけていただいた日比野克彦様にコンセプトをご説明いただきました。その他「経営情報アンケート」「NHK BS 減波による製作会社の影響」をそれぞれ報告し、質疑応答を行いました。また、SNSを活用し、ATP 賞、上方番組大賞、TV CREATORS FES 等、ATP の活動の様子を随時発信致しました。ATP ホームページでは、会員社ログインページの充実を図るとともに「ATP CREATORS CATALOGUE」機能を追加しました。海外のクリエイターと交流する機会も増えており、国内だけでなくグローバルクリエイター集団である ATP をアピールする足掛かりとしていきます。

<メディアセンター> 副理事長・センター長 中川幸美

メディアセンターでは、適正な取引の是正と共に、製作委託形式の実態調査やそれに伴う著作権帰属の議論が高まり、放送局への要望や関係省庁に向けてプレゼンテーションを行うなど、積極的な活動を行いました。

1. 著作権の考え方の確認

ATP が構成員として参加している、総務省の「放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議(以下、検証・検討会議)」をはじめ、局協議の場にて製作会社への著作権の帰属をお伝えする活動を行ってまいりました。当年度初の検証・検討会議では、総務省「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(以下、ガイドライン)」第7版で整理された契約形態と著作権の帰属についての類型が制作実態と離れている問題などを提起いたしました。また、NHK とは定期協議を月例で行い、演出委託の類型に当てはまらない番組を制作実態に見合った類型にしてほしい旨是正をお願いいたしました。

2. 適正な管理費の確立

前年 10 月の声明文を基に、BS 各局へ訪問し、適正な管理費の確立を求めました。今回は適正な管理費とともに、2023 年 3 月の中小企業庁による価格転嫁に関する調査結果で、放送コンテンツ業界が最下位に近い現状を共有しました。コロナ禍により 2018 年以降訪問が叶わなかった局や新設された局にも対面できたことで、ATP の主張と共に意見交換をすることができました。ATP では、制作現場の改善に向けて、定期的に会員社にヒアリングを行い、定点観測をしていきます。

3. 「製作取引の適正化」に向けた活動

検証・検討会議では、ガイドラインの新たな事項として、フリーランスとの適正取引に関して検討が行われました。ATP と民放連が共同事務局を務めている放送コンテンツ適正取引推進協議会においては、協議会テキストの改訂に伴うオンライン研修会を開催し、同時にオンライン研修会に参加出来なかった方々に向けてアーカイブ配信を行い、製作会社・放送局の皆さまに周知を図りました。

4. NHK 放送波減少への対応

NHK の外部制作比率について、NHK 経営計画(2024-2026)案に対するパブリックコメントへ、ATP としての意見を投稿いたしました。総務省「基幹放送の普及計画変更告示案」について、「新 2K/新 4 K 両局に目標値が設定された点、および製作会社の著作権保有の番組が外部制作比率の対象になった点においては大いに歓迎」としながらも、この数値はあくまで最低限度であり今後拡大することを要望しました。

5. メディア委員会

下記 3 回のメディア委員会をオンラインにて開催し、周知、共有に努めました。それぞれのテーマは、下記のとおりです。

2023 年 5 月 10 日

「新入社員が失敗しないための著作権基礎講座」

講師：福地研志氏(Field-R 法律事務所)

講演概要：著作物とは何かという基本から、制作スタッフが失敗しないために知っておくべき権利処理や著作権の問題について最新事例を交えながら解説

2023 年 8 月 23 日

「ポッドキャスト・音声コンテンツの可能性～映像製作者の音声メディアへの進出～」

講師：柴田周平氏(Wondery | Amazon Music)

講演概要：ポッドキャストの魅力や可能性、映像製作者が音声メディア制作に進出してきている現状を解説

2024 年 2 月 27 日

「番組制作に関わる生成 AI 基礎講座～座学から実践まで～」

講師：西脇資哲(日本マイクロソフト)

講演概要：著作権者の立場も考えた生成 AI との付き合い方について現状や使い方を解説

6. 製作会社主体のコンテンツ展開促進

ATP と NPO 法人 Tokyo Docs が主催する「Tokyo Docs 2023」は 13 回目の実施となり、10 月 30 日～11 月 1 日にわたり、4 年ぶりに海外からゲストを招いての開催となりました。海外からは 11 カ国・地域より 19 名の放送局プロデューサーや配信プラットフォーム、配給会社、製作会社から成るディビジョン・メーカーが来日し、国内は 11 名の放送局や配信プラットフォームが参加しました。10 月 30 日～11 月 1 日までは秋葉原 UDX の会場を使い、その後 11 月 2 日～6 日まではオンラインミーティングを実施いたしました。メインとなる提案企画会議、いわゆるピッチング・セッションでは、海外から 10 企画・1 作品、国内から 9 企画・5 作品が、上映・プレゼンテーションを行いました。

7. 「ATP の主張」

24 年度の改訂作業に向け、改訂項目の洗い出しを行いました。配信事業者との取引や二次展開の著作権の考え方など、製作会社の新しいビジネスモデルに則した改訂を進めていきます。

<事業センター> 副理事長・センター長 相川弘隆

事業センターは、「ATP 賞テレビグランプリ」や「新人研修」など、コロナ禍を経て 4 年ぶりの対面開催を積極的に行いました。ATP 賞受賞式の PR にも力を入れ、各局で報道されるなど、注目を浴びました。

1. 第 39 回 ATP 賞テレビグランプリ

7 月 6 日(木)、第 39 回 ATP 賞受賞式を実施いたしました。今年は 4 年ぶりの対面開催とし、会場、トロフィーを一新しました。グランプリは、入社 2 年目の若手ディレクターが SNS を駆使して制作したドキュメンタリー部門の「ETV 特集 ブラッドが見つめた戦争あるウクライナ市民兵の 8 年」(オルタスジャパン、NHK エデュケーショナル/NHK E テレ) がグランプリに輝きました。また最優秀新人賞には、NHK E テレの「ようこそ認知症世界へ」で丸山梓さん(NHK エンタープライズ) が選ばれ、贈賞されました。式典に先立ち行われた記者懇談会では、新トロフィーをデザインした日比野克彦氏にも出席いただき、コンセプトなどを語って頂きました。併せて、ATP の活動を中心に製作会社の現状を説明しました。

2. TV CREATORS FES 2025 東京

TV CREATORS FES 2025 は、学生や会員社からの実績による要望を受け、事業センターでも協議をし、これまでの1日から2日間の開催に初めてチャレンジをいたしました。3月16日(土)・17日(日)に東京と大阪同日オンラインで開催し、開催当日までに1000名を超える学生エントリーがありました。

25卒学生の就活動向から、エントリー数の減少(昨対比80%予測)が懸念されたため、イベント広報の強化に取り組みました。具体的には、SNSに加え、マイナビの大規模イベントでのチラシ設置(40拠点)、キャリアタス UC(キャリア支援サービス)にて全国約370校へ情報公開、ATPで収集した約80の大学・専門学校の教授、キャリアセンターへのイベント案内などの施策を実施しました。2日間の総予約学生数は昨対比83.64%の1084名、マイナビの他のWEBイベントの予約率平均が昨対比67%と見ると、予約率は平均を上回る良い結果となりました。次年度につきましては、事業センター内にて成果の検証を行い、検討してまいります。

3. 育成とセミナー

「ATP 合同新人研修 WEB セミナー2023」は、4月6日(木)、7日(金)にて実施いたしました。1日目をオンライン、2日目は、東京では4年ぶりに対面、関西はオンラインでのハイブリット開催といたしました。また、特別企画では、吉本興業より様々な番組で活躍されている平成ノブシコブシの吉村崇氏に登壇いただき、出演者側から見る業界のお話や参加者からの質疑応答が行われました。研修には、会員社46社から200名(前年度43社174名)の新入社員が参加し、映像クリエイターとなる為の番組作りの基本や構成の講義に加え、社会人として基本となるマナーやコンプライアンスについて学びました。2日目の最後には、東京のみではありますが懇親会も開催し、会社の垣根を越えてこれから業界を担う同期とのコミュニケーションを深める場として、積極的に名刺交換や交流を図っていました。

4. インターンシップ、セミナー

3月開催の新卒採用イベント「TV CREATORS FES」への動員に繋げる為、年間を通して25卒の就活スケジュールに合った内容のインターンシップ、セミナーを、オンラインにて全10回実施いたしました。クリエイターとの座談会や企画会議など、実践的なインターンシップ「TV CREATORS INTERNSHIP」は、前期を6月～9月全3回、後期を11月～2月全3回の計6回開催いたしました。また、6月と7月に、業界や仕事研究をはじめた学生向けに「謎多きテレビ・映像コンテンツ業界への不安・疑問に答える!～業界&仕事研究セミナー～」を、11月と2月に、業界を絞り込んだ学生対象に「就活直前!若手社員に聞く!～番組制作の仕事のホント&就活リアルトークセミナー～」を実施しました。インターンシップ、セミナーには、マイナビを通して全国より699名の学生が参加しました。新卒採用イベントは、製作会社にとって未来のクリエイターを確保する重要な事業です。

会員社が合同で開催することで、より多くの学生が集まり、製作会社を訴求できる仕組みとして今後も推進をしてまいります。

<関西センター> 理事・センター長 河野純基

関西センターは、関西の製作会社の連携強化と事業の拡大を実現しました。

1. 第11回 ATP 上方番組大賞および受賞式の実施

2024年1月23日(火)、第11回 ATP 上方番組大賞受賞式を、読売テレビ 10hall(大阪市中央区)で開催いたしました。毎年、関西放送局のホールで行っていますが、当年度は、ytv Nextry 協力のもと、放送局の垣根を超え2名のアナウンサーによる司会進行によりとり行われました。受賞式には、受賞者、番組関係者、放送局関係者などが来場し、前年を上回る130名が来場し、上方番組大賞への関心の高まりが見受けられました。グランプリは、番組部門と短編・コーナー部門より選ばれた優秀賞8作品の中から、「ロイヤルミステリー 皇后のドレスの謎」(ダイメディア/NHK BS プレミアム)が選ばれ、最優秀新人賞には、新人賞4名の中から、関西の製作者だからこそ描けた作品、NHK BS プレミアム「新日本風土記「神戸 長田」」で、松岡雅梓さん(ダイメディア)が輝きました。

2. TV CREATORS FES 2025 大阪

3月16日(土)、17日(日)に TV CREATORS FES 2025 を東京と大阪合同で、同日開催いたしました。関西会員社からは9社が出展し、就活に役立つ講座として開催したスペシャルコンテンツ「24卒内定者が回答します!番組製作業界ならではの選考講座(16日)」に24卒内定者1名と、「先輩クリエイターに聞く!就活から仕事に就いて徹底解説講座(17日)」に若手社員1名がオンラインで参加しました。東京の社だけでなく、関西からも登壇した事で、関東のみならず関西以西圏の学生にも訴求できるコンテンツとなりました。

3. 関西協議会の開催

10月3日(火)、新梅田研修センターにて関西会員社の代表取締役や役員、15社の参加により関西協議会を開催しました。協議会では、ATPの取り組みや海外展開事業の報告に加えて、3本柱である「上方番組大賞」の応募状況報告、「働き方改革」「管理費問題」を軸に、関西における番組受注や人材育成に関する意見交換を行いました。

4. 適正な管理費の確立・関西局訪問

在阪局との取引においても、状況の把握と適正な管理費の確立を目指し、放送局へ訪問、製作会社が協議できる場づくりをお願いしました。

5. 在阪製作会社間のつながりの強化

10月4日(水)、関西協議会後に初めての試みとして関西会員社交流会を実施しました。協議会参加者や現場のプロデューサーおよびディレクターなど、約50名が参加し、会員社同士の情報交換や交流機会を図りました。また、関西放送局による企画募集説明会を、ATPが窓口となり行いました。今後も在阪製作会社間のつながりや情報共有の強化に努めてまいります。

【2023年度活動記録】

※敬称略 ※会社名・肩書きは当時のもの

《2023年》

4月

●ATP合同新人研修セミナー2023

日時：4月6日(木)～7日(金) オンライン開催

参加者：46社 200名 東京 39社 176名 関西 7社 24名

プログラム：

『マナー研修』講師：井原恵津子（オフィス・グランツ）

『コンプライアンス研修』

講師：坪田譲治（フジテレビ）、

(参考)その他プログラムは、下記 URL または QR コードよりご覧ください。

<https://www.atp.or.jp/training/rookie.php>



5月

●第43回メディア委員会

日時：5月10日(水)16:00-18:00 オンライン開催

内容：第1部 メディアセンター報告

第2部 「新入社員が失敗しないための著作権基礎講座」

講師：福地研志(Field-R 法律事務所)

参加者：33社 204名

アーカイブ視聴数：92回

6月

●業界・仕事研究セミナー

日時：6月29日(木)14:00-17:30 オンライン開催

参加者：87名

モデレーター：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：唯野友歩（AOI.Pro）、伊藤正憲（テレコムスタッフ）、

竜崎琢也（共同テレビジョン）

7月

●第39回 ATP 賞テレビグランプリ受賞式

日時：7月6日(木)16:00-19:00

場所：東京プリンスホテル 2階「プロビデンスホール」

来場者：スタッフ、受賞者、プレス、関係者 394名

司会：佐藤俊吉アナ（NHK）、久富慶子アナ（テレビ朝日）

受賞作品：

▼グランプリ

ETV 特集「ブラッドが見つめた戦争 あるウクライナ市民兵の8年」

オルタスジャパン、NHK エデュケーショナル/NHK E テレ

▼最優秀新人賞

丸山 梓（NHK エンタープライズ）

「ようこそ認知症世界へ」NHK E テレ

（参考）その他受賞作品は、下記 URL または QR コードよりご覧ください。

https://www.atp.or.jp/awards/atpaward/award_039.php



●業界・仕事研究セミナー

日時：7月22日(土)14:00-17:30 オンライン開催

参加者：220名

講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：木下俊（いまじん）、高梨智子（ジッピー・プロダクション）

竜崎琢也（共同テレビジョン）

8月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2025

日時：8月8日(火)14:00-17:30 オンライン開催

参加者：41名

講師：長谷川 泰久（アマゾンラテルナ）

パネリスト：川上貴史（メディアミックス・ジャパン）、知念美里（テレパック）

飛田陽子（NHK エデュケーショナル）、狐崎海（UNITEDPRODUCTIONS）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2025

日時：8月22日(火)14:00-17:30 オンライン開催

参加者：52名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：碓武井大樹（吉本興業）、永田一行（テレビマンユニオン）

村山太郎（メディア・ミックスジャパン）、上田 拓永（フレックス）

●局訪問（BS-TBS）

日時：8月22日(火)

場所：BS-TBS 本社

議題：「適正な管理費の確立」「価格転嫁交渉の場の設置」

●第44回メディア委員会

日時：8月23日(水)14:30-16:00 オンライン開催

内容：第1部 メディアセンター報告(NHK協議報告など)

第2部「ポッドキャスト・音声コンテンツの可能性～映像製作者の音声メディアへの進出～」

講師：柴田周平(Head of JP Podcast Content, Wondery | Amazon Music)

参加者：26社 111名

アーカイブ視聴数：58回

●局訪問 (BS朝日)

日時：8月28日(月)

場所：BS朝日本社

議題：「適正な管理費の確立」「価格転嫁交渉の場の設置」

●局訪問 (BSフジ)

日時：8月28日(月)

場所：グランドニッコー東京台場

仮題：「適正な管理費の確立」「価格転嫁交渉の場の設置」

●局訪問 (BSテレビ東京)

日時：8月30日(水)

場所：BSテレビ東京本社

議題：「適正な管理費の確立」「価格転嫁交渉の場の設置」

9月

●局訪問 (BS日本)

日時：9月1日(金)

場所：BS日本本社

議題：「適正な管理費の確立」「価格転嫁交渉の場の設置」

●局訪問 (日本BS放送)

日時：9月7日(木)

場所：日本BS放送本社

議題：「適正な管理費の確立」「価格転嫁交渉の場の設置」

●局訪問 (ワールド・ハイビジョン・チャンネル)

日時：9月11日(月)

場所：ワールド・ハイビジョン・チャンネル本社

議題：「適正な管理費の確立」「価格転嫁交渉の場の設置」

●TV CREATORS INTERNSHIP 2025

日時：9月9日(土)14:00-17:30 オンライン開催

参加者：40名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：安藤元気（テレパック）、平岡雅子（クリエイティブネクサス）

上田拓永（フレックス）、松浦拓也（ジェイワークス）

10月

●関西協議会

日時：10月3日(火)15:00-17:00

場所：新梅田研修センター

議題：

ATPの取り組みについて

- ・TV CREATORS FES 2025 開催について
- ・新人研修セミナー2024

ATP 海外展開事業

- ・Tokyo Docs 2023
- ・日韓中テレビ制作者フォーラム
- ・第16回アジアテレビドラマカンファレンス
- ・アジアコンテンツアワード（釜山国際映画祭傘下）

番組受注に関する意見交換

- ・管理費問題の現状と動き
- ・制作予算と労働力、番組クオリティのバランス
- ・働き方改革と人材育成他

第11回 ATP 上方番組大賞

- ・第11回開催方法、概要
- ・応募状況
- ・今後の上方番組大賞運営

●NHK 定期協議

日時：10月5日(木)17:00-18:00

場所：NHK 内会議室

議題：BS 波削減の影響、奈良局 立替払管理費 ほか

11月

●Tokyo Docs 2023

日時：10月30日(月)～11月1日(水)

会場：秋葉原 UDX(東京都千代田区外神田4丁目14-1)

メイン会場：4F シアター/サブ会場：4FNext-1、Next-2

内容：

10月30日(月) ピッチング・セッション1 /

上映会・ワークショップ「Tokyo Docs×ドキュメント」 / 個別ミーティング

10月31日(火) ピッチング・セッション2 / Short Films Screening & トークセッション

/ 個別ミーティング

11月1日(水) Short Documentary Showcase

/ ワークショップ by Charlotte Cook and Jason Hanasik

/ 個別ミーティング / アワード・セレモニー

参加者：ゲスト：海外23名(11か国地域)、国内11名

企画：メイン19本、短編6本

イベント参加者延べ人数：290名

(受賞企画)

登壇した企画・短編作品の中より、国内外のディビジョン・メーカーの投票により選ばれた受賞企画・作品を、最終日 11 月 1 日に Award Ceremony の場で発表いたしました。詳細は下記 URL (QR コード) よりご確認ください。

<https://tokyodocs.jp/news/YSfDiNXG>



●2023 グローバルコンテンツ会議&韓中日 PD フォーラム

開催期間：11 月 8 日(水)～11 月 11 日(土)

開催国：大韓民国 京畿道坡州出版市

会 場：集郷ゲストハウス

参加者：315 名 (3 日間のべ)

ATP 参加社：10 社 15 名

主なプログラム (日本からの登壇者)

ドキュメンタリー『ピッチング&フィードバック』

『妖精とアインシュタインと桜』中村光博(テレコムスタッフ プロデューサー)

/菅野誠(テレコムスタッフ 共同プロデューサー)

『フランシス・レイ 恋愛音楽家の遺言』藤本宏記(東京ビデオセンター ディレクター)

特別講演(1) (エンターテインメント) 『エンターテインメントの成功戦略』

『LOL:Last One Laughing (ドキュメンタル)』武井大樹(吉本興業 プロデューサー)

特別講演(2) (エンターテインメント) 『グローバル OTT ランドスケープにおけるコンテンツの選択』

長澤一史 (HJ ホールディングス株式会社 専務取締役 CCO)

【ATP CREATORS CATALOGUE】

詳細は下記 URL (QR コード) よりご確認ください。

▼Japanese version

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjoyNzk0NzN9&detailFlg=0&pNo=1>

▼English version

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjoyNzk0NjZ9&detailFlg=0&pNo=1>



●NHK 定期協議

日時：11 月 16 日(木)17:00-18:15

場所：NHK 内会議室

議題：既存の委託契約類型に当てはまらない番組について

制作費に含まれるアーカイブ放送期間について ほか

●番組制作仕事のホント&就活リアルトークセミナー

日時：11 月 18 日(土)14:00-16:30 オンライン開催

参加者：72 名

モデレーター：松葉直彦 (テレビマンユニオン)

パネリスト：西本和史 (ホリプロ)、鶴田将志 (シオン)

林美紗 (ダイメディア)

12月

- 放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議(第22回) (第19回) WG 合同会合
日時：12月4日(金) 15:00-12:00 オンライン開催
議題：(1)「放送コンテンツの制作・流通の促進に関するワーキンググループ」の取りまとめについて
(2)令和4年度の取組状況
(3)「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」の改訂に向けた論点案

●TV CREATORS INTERNSHIP 2025

- 日時：12月9日(土)14:00-17:30 オンライン開催
参加者：38名
講師：長谷川泰久 (アマゾンラテルナ)
パネリスト：梅澤茉莉子 (フレックス)、村田欣也 (いまじん)
青木祐太 (IVS テレビ制作)、篠原 利恵 (テレビマンユニオン)

●NHK 定期協議

- 日時：12月13日(木)17:00-18:15
場所：NHK 内会議室
議題：既存の委託契約類型に当てはまらない番組について
制作費に含まれるアーカイブ放送期間について
立替管理費の消費税について ほか

●TV CREATORS INTERNSHIP 2025

- 日時：12月26日(火)14:00-17:30 オンライン開催
参加者：35名
講師：宮澤祐樹 (いまじん)
パネリスト：梅澤茉莉子 (フレックス)、今井希 (いまじん)
後藤優佳 (東京ビデオセンター)、月本純暉 (レジスタエックスワン)

《2024年》

1月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2025

- 日時：1月13日(土)14:00-17:30 オンライン開催
参加者：36名
講師：桑原慶介 (ジッピー・プロダクション)
パネリスト：梅澤茉莉子 (フレックス)、村田欣也 (いまじん)
青木祐太 (IVS テレビ制作)、篠原 利恵 (テレビマンユニオン)

●Tokyo Docs 2023×上智大学共催 オンライン上映イベント

- 日時：1月16日(火)
会場：上智大学6号館 (ソフィアタワー) 1F 101 教室
内容：上映会テーマ「無農薬テロリスト」
『無農薬テロリスト The Organic Terrorist』 (インマン恵監督/2021年) 上映
登壇：インマン恵監督 (オンライン)

司会・進行 音好宏(上智大学) 天城鞆彦(Tokyo Docs)
参加者：44名

●関西局訪問

日時：1月17日(水)

テレビ大阪 14:00-

日時：1月19日(金)

毎日放送 14:00- NHK大阪 15:00- 読売テレビ 16:30-

日時：1月22日(月)

関西テレビ 15:00- 朝日放送 16:30-

訪問目的：新年のご挨拶、上方番組大賞や関西の番組制作における情報交換や意見交換

●第11回 ATP 上方番組大賞 受賞式

日時：1月23日(火)

場所：読売テレビ 10hall

来場者：スタッフ、受賞者、プレス、関係者 131名

司会：渡邊幹也 アナ(読売テレビ)、松川浩子アナ(毎日放送)

受賞作品：

▼グランプリ

『ロイヤルミステリー 皇后のドレスの謎』

(製作会社：ダイメディア 放送局：NHK BSプレミアム)

▼最優秀新人賞「松岡 雅梓」(ダイメディア)

『新日本風土記「神戸 長田」』(放送局：NHK BSプレミアム)

(参考)その他受賞作品は、下記 URL または QR コードよりご覧ください。

https://www.atp.or.jp/awards/atpaward_kansai/award_011.php



●ATP 新春交歓会 2024

日時：1月31日(水)18:30-20:00

場所：東京プリンスホテル 2階 「マグノリアホール」

来場者：外部関係者 175名 ATP 会員社 148名 合計 323名

登壇者：(敬称略)

総務省 情報流通行政局長 小笠原陽一

日本民間放送連盟 副会長 石澤頭

日本放送協会 専務理事 メディア総局長 山名啓雄

日本テレビ放送網 コンテンツ戦略局長 森實陽三

2月

●放送コンテンツ適正取引推進協議会

「よくわかる放送コンテンツ適正取引 オンライン研修会」

日時：2月2日(金)15:00-16:30

場所：ハイブリット開催

講師：野瀬 洋一 (民放連・下請取引専門部会副部会長)

／(株)テレビ朝日・総務局コーポレート情報事務局長)

松村 俊二 (ATP 理事／(株)共同テレビジョン・執行役員 権利開発部長)

●放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議(第 23 回) (第 20 回) WG 合同会合

日時：2月8日(木) 16:00- オンライン開催

議題：(1)関係団体からのプレゼンテーション (ATP 発表)

(2)価格交渉・価格転嫁に関する政府の動き

(3)その他

●番組制作仕事のホント&就活リアルトークセミナー

日時：2月10日(土)14:00-16:30 オンライン開催

参加者：78名

モデレーター：松葉直彦 (テレビマンユニオン)

パネリスト：大澤奈々 (東通企画)、高山翼 (東京ビデオセンター)

千田野々香 (いまじん)

●第 45 回メディア委員会

日時：2月27日(火)16:00-18:00 オンライン開催

内容：第 1 部 メディアセンター報告(局訪問報告、総務省「基幹放送普及計画」告示、

NHK 経営計画パブコメ、総務省セミナー、総務省検証・検討会議プレゼン報告など)

第 2 部「番組制作に関わる生成 AI 基礎講座～座学から実践まで～」

講師：西脇資哲(日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 エバンジェリスト)

参加者：40社 186名

3月

●TV CREATORS FES 2025 東京・大阪合同開催

日時：3月16日(土)、17日(日)10:00-15:00 オンライン開催

出展社：36社(東京27社/大阪9社)

エントリー学生数：1084名

【その他】

1. 総会

●第 11 回通常総会

日時：2023年6月7日(金) 16:00 - 17:00

場所：AP 浜松町「A ルーム」

審議事項：第 1 号議案 2022 年度事業報告書および決算報告書 承認

報告事項：2023 年度事業計画、2023 年度収支予算

2. 理事会 2023 年度の理事会は、全 5 回開催しました。

●第 61 回定例理事会

日時：6月7日(金)14:30-15:30

場所：AP 浜松町「A ルーム」 ハイブリット会議

審議事項：第 39 回 ATP 賞「特別賞」について承認

入会について 承認

- 第 62 回定例理事会
日時：9 月 29 日(金)15:00-16:30
場所：オンライン会議
報告事項のみ
 - 第 63 回定例理事会
日時：11 月 25 日(金)15:00-16:00
場所：オンライン会議
審議事項: JPPA AWARDS2024 後援名義申請について 承認
吉本興業 会員資格移行について 承認
ジャパネットブロードキャスティング 会員種別変更について 承認
 - 第 64 回定例理事会
日時：2024 年 1 月 26 日(金)15:00-16:30
場所：オンライン会議
審議事項 2024 年役員改選
役員選出要項（案）について 承認
選挙管理委員会 委員構成及びスケジュール（案）について 承認
 - 第 65 回定例理事会
日時：2024 年 3 月 22 日(金)14:30-15:30
場所：ATP 事務局
審議事項：2024 年度事業計画書（案）について 承認
2024 年度予算書（案）について 承認
2023 年度事業報告書（案）について 承認
3. 入退会
- 入会
株式会社ソナーメディア(7 月)
 - 退会
有限会社ホームルーム(9 月)
株式会社ジーズコーポレーション(9 月)
株式会社ソナーメディア (2024 年 3 月)
 - 会員資格移行
株式会社吉本興業から株式会社よしもとブロードエンタテインメントへ移行

以上